

# 山梨の味と技を知る

美しい風土の中で伝統にはぐくまれた品々。素朴さと気品の中にやまなしの個性が光ります。

## ■モモ (旬: 7月~8月)

栽培面積、生産量ともに日本一です。

「白鳳」や「浅間白桃」などが代表的な品種で、7月の東京中央卸売市場では、本県産のモモが約90%を占めます。県オリジナル品種である「夢しずく」も生産量が増加しています。



県オリジナル品種: 夢しずく



県オリジナル品種: サマービュート



県オリジナル品種: サマーエンジェル

## ■スモモ (旬: 7月~8月)

栽培面積、生産量ともに日本一です。

「大石早生」や「太陽」、果肉が赤い「ソルダム」の他、スモモの常識を覆すほど大玉で高糖度の「貴陽」や、県オリジナル品種の「サマービュート」「サマーエンジェル」が注目されています。

## ■サクランボ

(旬: 5月下旬~6月中旬)

赤い宝石のように実る高級感漂う初夏の果物です。山梨県では、5月上旬から観光もぎ取りも楽しめます。「高砂」「佐藤錦」が代表的な品種で、山梨県が栽培の南限と言われている。県オリジナル品種として、「甲斐オウ果1 (商標: 富士あかね)」があります。



県オリジナル品種: 甲斐オウ果1 (商標: 富士あかね)



ロザリオピアンコ 甲州

## ■ブドウ (旬: 8月~10月)

栽培面積、生産量ともに日本一です。

栽培の歴史は古く、山梨県では約1300年前から始まったと言われています。「巨峰」「ピオーネ」「甲斐路」「ロザリオピアンコ」など、品種はとても豊富です。また、「甲州」はワインとしても有名な本県独自の品種です。

## ■甲州牛

山梨水明の自然豊かな山梨県で育てられた黒毛和種の中で、品質ランクが特に優れた4または5等級に格付けされた和牛肉です。



## ■ワイン

山梨県は日本のワイン発祥の地であり、80を超えるワイナリーが数多くの銘柄のワインを醸造しています。

日本一のワイン生産量を誇っており、醸造技術の水準も世界レベルです。

## ■ほうとう

山梨県の郷土料理といえば、「ほうとう」です。信玄公の陣中食と伝えられ、たっぷりの野菜と手打ち麺を味噌仕立てで煮込んだ味わいは格別です。山梨を訪れた際は、ぜひとも味わっていただきたいものです。



## ■吉田のうどん

吉田のうどんは、コシの強い麺の上にキャベツや馬肉を盛りつけ、薬味「すりだね」を入れて食べるのが特徴で、地域色豊かな人気上昇中のメニューです。富士北麓には60店舗以上のうどん店があります。自宅がうどん屋を兼ねている店がほとんどなので、家庭的な雰囲気を楽しむことができます。



Koo-fu (クーフー)コレクション

## ■ジュエリー

山梨県は、宝石の加工と貴金属加工が一体となった産地であり、研磨宝飾製品の出荷額は日本一です。さまざまなジュエリーから水晶貴石細工まで幅広い製品がそろっています。

## ■和紙

山梨県の和紙の歴史は古く、奈良時代末の宝亀4年(773年)の記録には、全国の紙の産地として甲斐の名が記されています。

市川三郷町の「市川和紙」と身延町の「西嶋和紙」は武田家や徳川家の御用紙として用いられ、山梨県郷土伝統工芸品に指定されています。現在は障子紙、書道半紙、画仙紙などの国内生産第3位となっています。



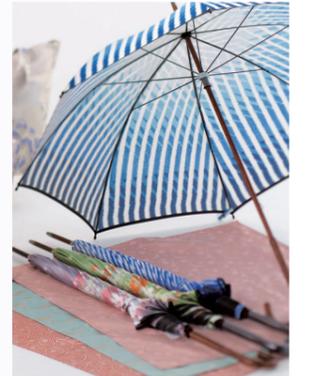
クリスマスエリカ

## ■花き

洋ランなどの鉢花は、鮮やかな花色や整った花姿など品質の良さで、全国でも有数の産地となっています。また、クリスマスの時期に雪のような白い花をつける「クリスマスエリカ」は、本県のオリジナル品種として人気を集めています。

## ■織物

山梨県の織物は、独特の光沢や風合いで江戸時代より人々の心をとらえた「甲斐絹」をルーツとしています。現在、甲斐絹の技は婦人服、インテリア、裏地などに活かされ、ネクタイ生地では日本一のシェアを誇っています。



## ■印伝



江戸時代末期までに甲府城下を中心に生産が始められたとみられ袋物として当時から庶民の間で親しまれていました。鹿皮に独特の伝統技法を用いて漆加工したもので、「甲州印伝」として、国の伝統的工芸品に指定されています。

## ■硯

甲州雨畑硯は、材料の良さ、光沢の良さが世界的に有名な中国の高級品「端溪」に匹敵するとされ、「和端溪」と言われています。墨ののりがよく、優雅な使い心地のため、書道愛好家にも人気が高いものとなっています。



## ■印章



文久年間に水晶のてん刻から始まったと言われ、印章は全国一を誇る産地です。印材は、水晶、柘、水牛などを使用し、機械彫り以外に手彫りによる印章も多く作られています。手彫りの印章は、「甲州手彫印章」として、国の伝統的工芸品に指定されています。